

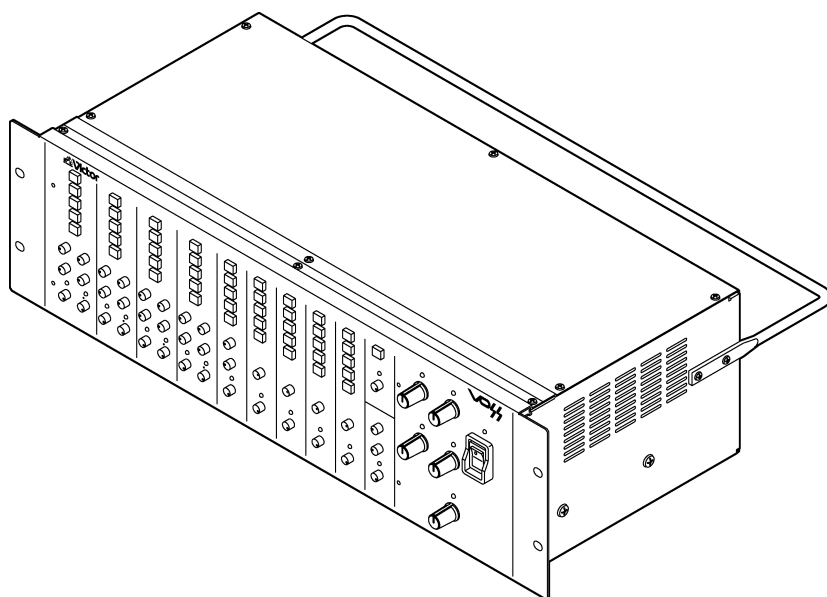


Victor

オーディオミキサー

型名 **PS-M330**

取扱説明書



Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

—お買い上げありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

このたびは
オーディオミキサー
PS-M330を
お買いあげいただき
ありがとうございます

特長

アナウンス5系統とミュージック4系統、出力5系統のマトリックススイッチ付きオーディオミキサーです。店舗やパーラーなどの多元放送システムに最適なミキサーです。

- 入力16回路(マイク9回路、ミュージック4回路、一斉マイク1回路、一斉ミュージック1回路、SUB1回路)、出力5回路の豊富な入出力を持つマトリックススイッチ付き小型オーディオミキサーです。
- コンパクトなEIA3Hサイズに納めました。ラックを有効活用できます。
- 全入出力にシグナル及びピークインジケータを装備。音量設定が容易になり、動作状態がわかります。
- 全マイク入力に個別にイコライザー回路を装備。マイクごとのきめ細かな音質調節が可能です。
- 4出力系統にインサクション入出力を装備。周辺機器を使用し、さらにきめ細かな音質調節が可能です。
- コンピューターなどの音声合成信号に対応したカップリングトランス絶縁入力を装備。ノイズに強いシステムを構築できます。
- わずらわしい操作が不要なミュージック自動ミュート機能付き。ミュージックを自動的に減衰させたり、一斉放送に切り替えたりできます。大事なメッセージを伝えたいときや、開店閉店時の定時放送に便利です。
- 4出力系統にVCA回路を装備。音量を離れたところから調節することができます。
- 出力音量調節つまみ以外をかくすプロテクトカバーを標準添付。不用意な誤操作を防止できます。
- フットを標準添付。EIAラックマウント仕様、机上設置の両方に対応できます。
- 非常放送時の音声遮断回路を装備。非常放送時に全出力を遮断することができます。別途非常時遮断装置を追加する必要がありません。

目次

特長	2	VCAINPUT外部音量調節入力端子の説明	12
安全上のご注意	3	ワイヤクランプバーの取り付けかた	12
ご使用上のご注意	3	フットの取り付けかた	12
フロントパネルの名称とはたらき	4	ブロックダイアグラム	13
各部の名称とはたらき	5	外観寸法図	13
リアパネルの名称とはたらき	8	保証とアフターサービス	14
接続の例	9	主な仕様	15
設定の手順	10		

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書(および別冊の「安全上のご注意」)と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や、財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。



警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜くこと



警告

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの側部や底部などに通風孔があけてあります。ラックに組込むときには、下1H以上のスペースをとるようにしてください。
- 本機は日本国内専用です。必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。



分解禁止



注意

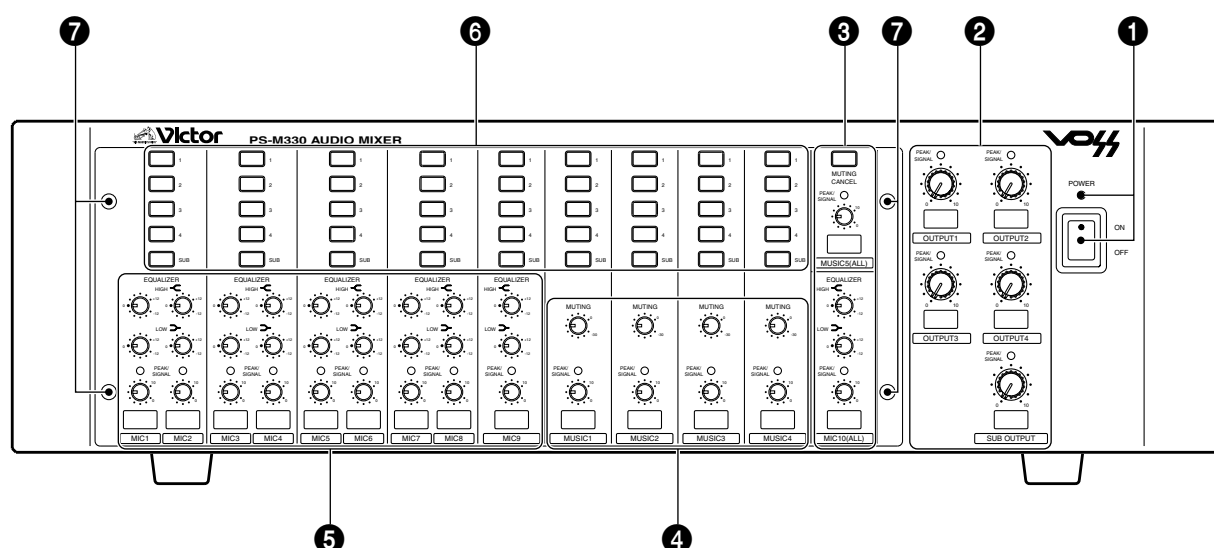
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- 棚置きでご利用の場合、必ずフットを取り付け、側面に5 cm以上の隙間を取り、冷却のための空気の流通を良くするようにしてください。



ご使用上のご注意

- ミューティング動作について
電源を入れてから3~5秒間は音が出ませんが、これはミューティング動作のためで、故障ではありません。
- 電源スイッチの投入について
全ての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。周辺機器と組み合わせてご使用されるときは、パワーアンプを最後にしてください。ノイズなどによるスピーカの破損を防止できます。
- 配線について
マイクケーブルやVCA制御ケーブルを電源線やスピーカー線と一緒に配線しないでください。ハム音やノイズの原因となります。10cm以上は離して配線してください。
- キャビネットの清掃について
キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(かそざい)の働きにより変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

フロントパネルの名称とはたらき



① 電源スイッチ／電源表示ランプ(橙、緑)

“ON” 側を押すと電源が入り、電源表示ランプが燈色に点灯します。3～4 秒後緑色になり、本機が使用できる状態になります。燈色に点灯している間は音声出力が遮断(ミュート)されています。OFF 側を押すと電源が切れ、電源表示ランプが消灯します。

非常放送時遮断(8ページ⑦端子台の説明を参照)機能を使用しているとき、非常放送が始まると電源表示ランプが燈色に点灯し、音声出力が遮断されます。

② 出力音量調節部

出力音量の調節と信号レベルの表示部です。詳しい説明は7ページをお読みください。

③ 一斉音声入力部

全出力チャンネルに一斉に出力される音声の入力調節部です。
詳しい説明は6ページをお読みください。

④ ミュージック系入力チャンネル部(MUSIC1～4)

BGMなどのミュージック音声入力の音声調節部です。
詳しい説明は5ページをお読みください。

⑤ アナウンス系入力チャンネル部(MIC1～9)

マイクや音声合成信号などの音声の入力調節部です。
詳しい説明は5ページをお読みください。

⑥ マトリックススイッチ部

各入力系統ごとの信号をどの出力系統に出力するかを設定するスイッチです。詳しい説明は7ページをお読みください。

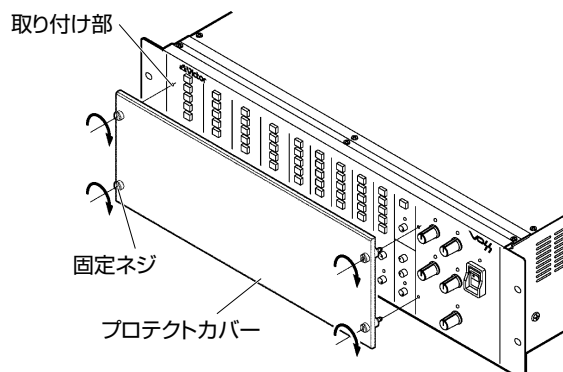
⑦ プロテクトカバー取り付け部

ご使用中に不用意な誤操作を防止するための、つまみ及びマトリックスボタンを保護するプロテクトカバー取り付け用ねじ穴です。

全ての音量の調節、音質の調節、マトリックススイッチの設定が終わりましたら、下図を参照して添付のプロテクトカバーを取り付けてご使用ください。

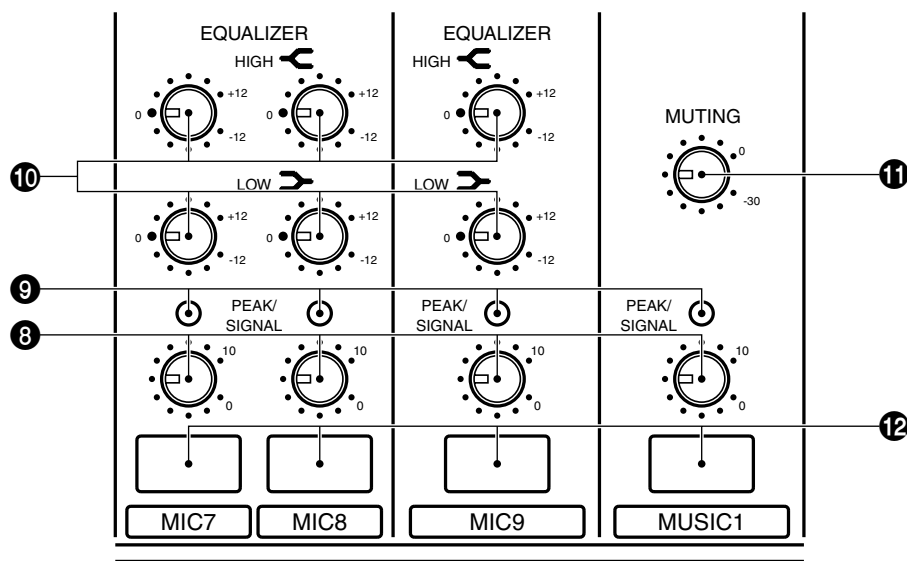
■プロテクトカバーの取り付けかた

⑦ プロテクトカバー取り付け部に固定ネジを合わせて右に回して取り付けてください。



各部の名称とはたらき

■入力チャンネル調節部 (マイク MIC1～9, ミュージック MUSIC1～4)



⑧ 入力音量調節つまみ

各入力チャンネルの入力音量を調節します。

右(↷)に回すと音量が大きくなり、左(↶)に回すと小さくなります。

⑨表示ランプが緑色に点滅する位置が適正位置です。

⑨ SIGNAL (緑) / PEAK (赤) 表示ランプ

入力信号の状態を表示します。

消灯しているときは信号が無い、レベルが小さすぎるときです。⑧音量調節つまみを右(↷)に回して緑色が点滅する位置に合わせてください。

赤く点灯するときは音量が大きすぎるときです。音が歪み、聞きづらいばかりでなく、パワーアンプやスピーカーなどに悪影響を及ぼします。⑧音量調節つまみを左(↶)に回して赤く点灯しない位置に合わせてください。

⑩ EQUALIZER HIGH/LOW 音質調節ボリューム

マイクの音質を細かく調節します。センタークリック位置("0" 位置)でフラットな特性になります。右(↷)または左(↶)に回すことで高音及び低音をそれぞれ増減できます。聞きやすい音質になるように調節してください。

HIGH : 高音調節

LOW : 低音調節

⑪ MUTEING レベル調節

MIC10(ALL)のマイク(一斉)でアナウンスしたとき、アナウンスが明瞭に聞こえるようにするため、自動的に MUSIC1～4 の音量を減衰(ミュートイング)させることができます(アナウンスミュートイング機能)。その減衰量を調節します。

右(↷)に回すと減衰量が少なくなり、左(↶)に回すと減衰量が大きくなります。

⑫ 名前表示スペース

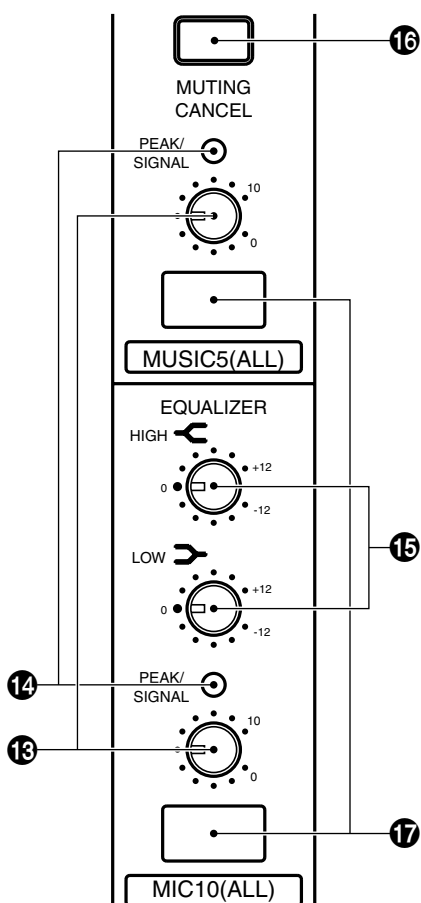
各入力の入力機器名や名称を表示するスペースです。

各部の名称とはたらき(つづき)

■ 一斉入力チャンネル調節部(マイク MIC10, ミュージック MUSIC5)

この2つの入力自動的にMUSIC1～4の音を減衰(アナウンスミュート機能)させたり、遮断(ミュージックミュート機能)したりすることのできる入力チャンネルです。

信号は全ての出力系統に一斉出力されます。



⑬ 入力音量調節つまみ

各入力チャンネルの入力音量を調節します。

右(↷)に回すと音量が大きくなり、左(↶)に回すと小さくなります。

⑭表示ランプが緑色に点滅する位置が適正位置です。

⑭ SIGNAL(緑)/ PEAK(赤)表示ランプ

入力信号の状態を表示します。

消灯しているときは信号が無い、レベルが小さすぎる時です。⑬音量調節つまみを右(↷)に回して緑色が点滅する位置に合わせてください。

赤く点灯するときは音量が大きすぎて、音が歪んでいるときです。⑬音量調節つまみを左(↶)に回して赤く点灯しない位置に合わせてください。

⑮ EQUALIZER HIGH/LOW音質調節ボリューム

マイクの音質を細かく調節します。センタークリック位置(“0”位置)でフラットな特性になります。右(↷)または左(↶)に回すことで高音及び低音をそれぞれ増減できます。聞き易い音質になるように調節してください。

HIGH : 高音調節

LOW : 低音調節

⑯ MUTING CANCELスイッチ(ON, OFF)

MUSIC5に入力があると(SIGNAL/PEAK表示ランプが点灯)、MUSIC1～4の音を自動的に遮断(ミュージックミュート機能)を入/切させるためのスイッチです。

ボタンが出ている(OFF)のときこの機能が働きます。この機能を使用しないときはボタンを押し、ひっこんでいる状態(ON)にします。もう一度押しとボタンが出て(OFF)この機能が働きます。

⑰ 名前表示スペース

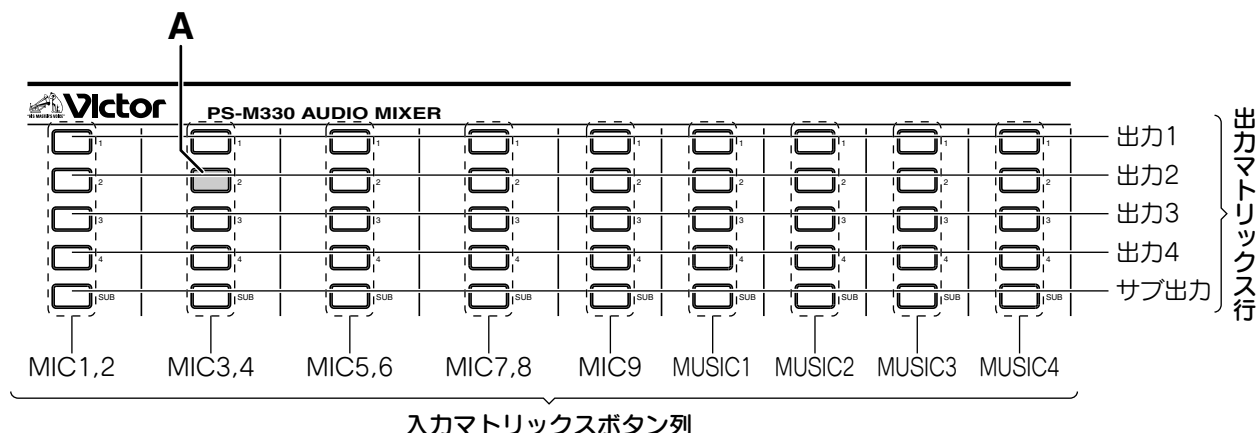
各入力の入力機器名や名称を表示するスペースです。

■ マトリックススイッチ部(1~4, ^{サブ}SUB) (ON, OFF)

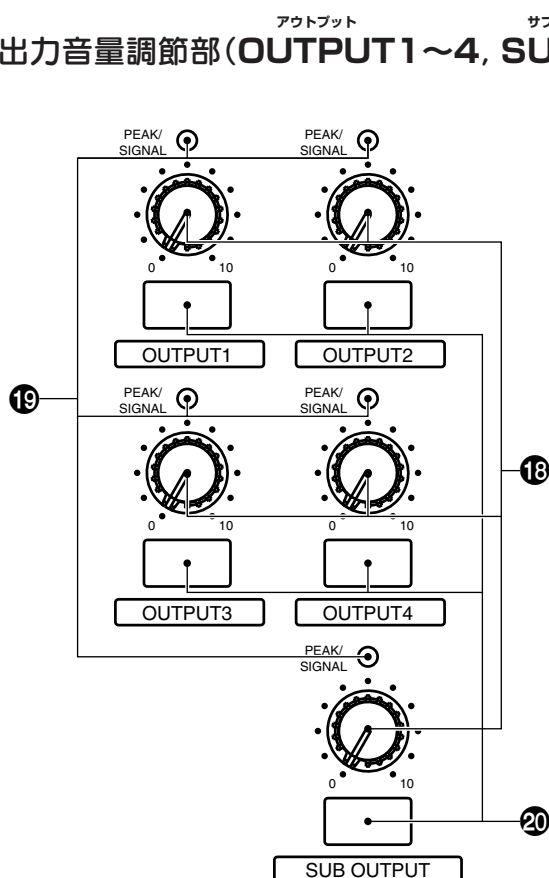
各入力チャンネルの信号をどの出力に出力するかを設定するスイッチです。押し込まれた状態(ON)が選択状態、出ている状態(OFF)が非選択状態です。ボタンを押すごとに選択/非選択となります。

左から入力チャンネルMIC1,2, MIC3,4, MIC5,6, MIC7,8, MIC9, MUSIC1, MUSIC2, MUSIC3, MUSIC4で、上から出力チャンネル1, 2, 3, 4, SUBの順です。入力と出力を組み合わせた位置のボタンを押してください。

【例】ボタンAを押すと、MIC3,4の入力信号が出力2に出力されるようになります。



■ 出力音量調節部(OUTPUT1~4, SUB OUTPUT)



⑮ 音量調節つまみ

各チャンネルの出力音量を調節します。右(↷)に回すと音量が大きくなり、左(↶)に回すと音量が小さくなります。⑮表示ランプが緑色に点滅する位置が適正位置です。

ご注意

外部音量制御機能(8ページ⑮参照)を使用している場合、本体の音量調節つまみと外部音量調節つまみの設定音量は影響し合います。一方が音量0位置ですと、他方を最大音量位置に設定しても音は出ません。外部音量調節機能をお使いになるときは、本機の出力音量調節は最大位置(“10”位置)でご使用になることをお勧めします。

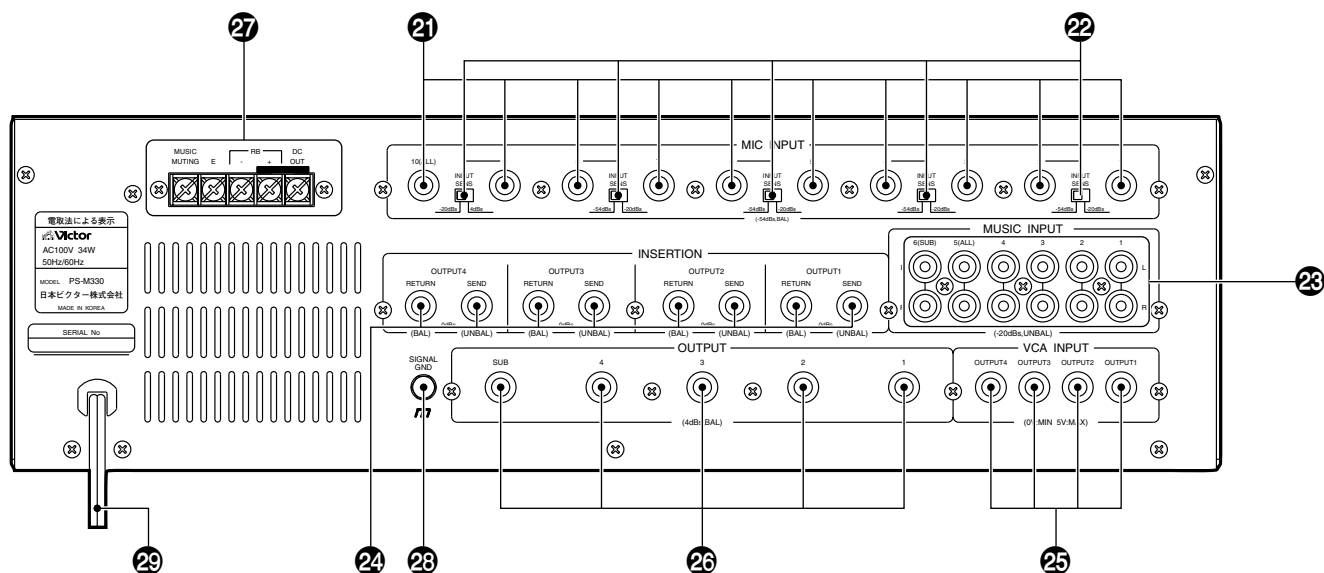
⑲ ^{シグナル}SIGNAL(緑)/ ^{ピーク}PEAK(赤)表示ランプ

出力信号レベルの状態を表示します。消灯しているときは信号が無い、レベルが小さすぎる時です。⑮音量調節つまみを右(↷)に回して緑色が点滅する位置に合わせてください。赤く点灯するときは音量が大きすぎて、音が歪んでいるときです。⑮音量調節つまみを左(↶)に回して赤く点灯しない位置に合わせてください。

⑳ 名前表示スペース

各出力の出力先や名称を表示するスペースです。

リアパネルの名称とはたらき



21 ^{マイク インプット} MIC INPUT 1~10マイク1~10入力端子

(MIC1,3,5,7,10:-54dBs600Ω平衡複式フォノジャック)
(MIC2,4,6,8:-54dBs600Ω/-20dBs20kΩ平衡複式フォノジャック)
(MIC9:-20dBs/+4dBs10kΩ不平衡トランス絶縁複式フォノジャック)
マイクやワイヤレスチューナーを接続する入力端子です。マイクは平衡出力タイプをご使用ください。MIC2,4,6,8,9は22INPUT SENSスイッチで感度を切り替えることができます。MIC9は音声合成装置などの自動放送機器用入力です。有線マイクは入力感度が合わないため使用できません。

22 ^{インプット センス} INPUT SENS感度切替スイッチ

MIC2,4,6,8,9の感度を切り替えます。接続する機器に合わせて適正感度に合わせてください。

23 ^{ミュージック インプット} MUSIC INPUT 1~6ミュージック1~4入力端子

(-20dBs10kΩ不平衡ピンジャック)
CDプレーヤー、カセットデッキや有線放送を接続する入力端子です。MUSIC6(SUB)は固定音量でSUBOUTPUTのみに出力されます。

24 ^{マイク インサージョン センド リターン} MIC INSERTION SEND/RETURN マイク系統インサージョン入出力端子

(+0dBs10kΩ平衡(RETURN)/不平衡(SEND)複式フォノジャック)
出力系統ごとのマイク信号系統にハウリングサプレッサー(PS-D320)やアナウンスプロセッサー(PS-D220)などの周辺機器を接続する端子です。ミュージック系統及びMIC9の音は出力されません。

25 ^{バイプーイー インプット} VCA INPUT外部音量調節入力端子

(複式フォノジャック)
出力1~4の音量を離れた場所から調節するとき使用する端子です。この端子で調節できる音量は最小から本体の出力音量調節つまみで設定した音量の範囲です。ご使用の際は、12ページ“VCA INPUT外部音量調節入力端子の説明”を参照して接続してください。

26 ^{アウトプット サブ} OUTPUT 1~4, SUB 出力1~4,サブ出力端子

(+4dBs10kΩ平衡複式フォノジャック)
出力端子です。マトリックスボタンで選択された信号が混合(ミックス)されて出力されます。

27 端子台

- **DCOUT** : 本機の電源スイッチが“入”のときDC電圧が出力されます。RB+入力専用です。他の用途には使用しないでください。
- **RB+, RB-** : 非常放送時に音声出力を遮断するときに使用します。解放にすることで音声出力を遮断できます。遮断中は電源表示ランプが灯色になります。通常はRB+とDCOUTを接続しておきます。
- **E** : 機能アース(接地)端子です。安全アースではありません。
- **MUSIC MUTING** : MUSIC1~4の信号を遮断するための入力端子です。E端子と接続するとMUSIC1~4の音声が遮断されます。

28 ^{シグナル グランド} SIGNAL GND シグナルグランド端子

本機に接続する機器のシグナルグランドを接続する端子です。本端子を使用して機器間のシグナルグランドを接続すると雑音が低減される場合があります。

警告

本端子は安全アースとして使用できません。



29 電源コード

AC100Vのコンセントに接続します。

警告

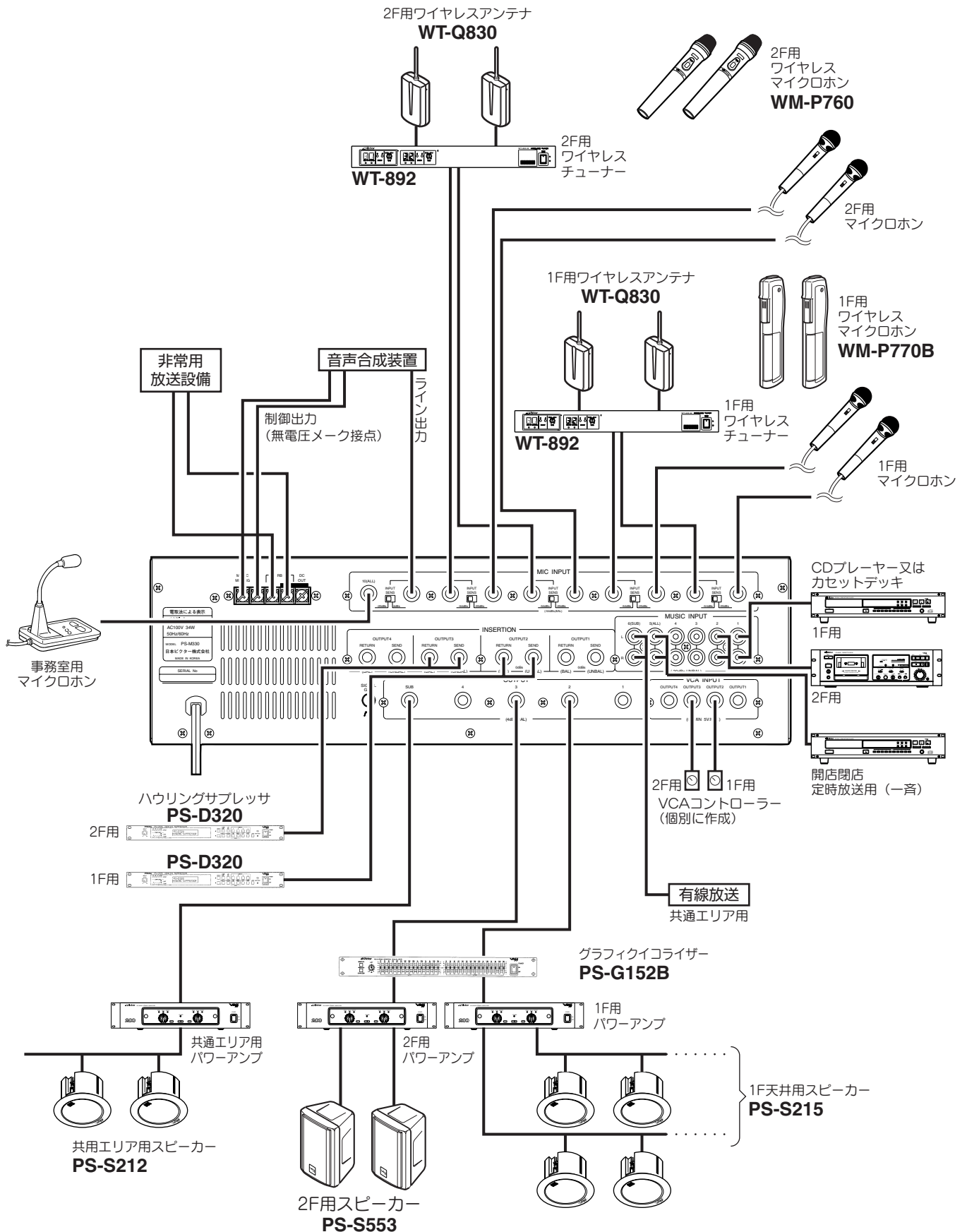
必ず商用電源AC100V 50Hz/60Hzでご使用ください。



接続の例

本機を、2階層多元放送システムとして使用する場合の接続例です。

- 1階と2階に、それぞれ独立したBGM放送とアナウンス放送が可能です。
- 事務所からは全階及び共通エリアに一斉放送が可能です。
- 開店／閉店時などの定時放送はCDプレーヤーを再生するだけで可能です。
- 共通エリアには1階、2階と異なる独立したBGM放送が可能です。



設定の手順

本機を最良の状態で作動させるため、次のように各つまみやボタンを設定してください。

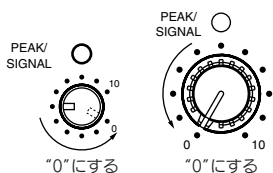
【ステップ 1】 機器の接続

接続例を参照して、背面の端子に使用する機器を接続します。全ての機器の電源は必ず切っておいてください。

【ステップ 2】 つまみの初期設定

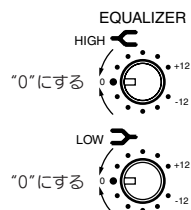
1. 音量を最小にする。

フロントパネルの全ての入力音量つまみと出力音量つまみを左端（“0”位置）にします。



2. 音質をフラットにする。

EQUALIZERのHIGH, LOWの各つまみをセンタークリック位置（“0”位置）にします。



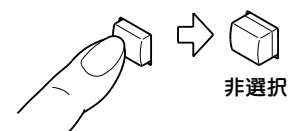
3. ミューティングしない状態にする。

MUSIC ミューティングレベル調節つまみを右端 “0” 位置（ミューティングしない位置）にします。



4. マトリックススイッチを非選択にする。

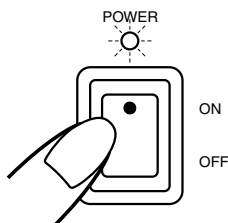
マトリックススイッチボタンを全て非選択（出ている状態）にします。



【ステップ 3】 BGMなどのミュージック系の入力音量調節

5. 電源を入れる。

CDやカセットデッキなどの機器から順に電源を入れてから本機の電源を入れます。
パワーアンプの電源はまだ入れないでください。

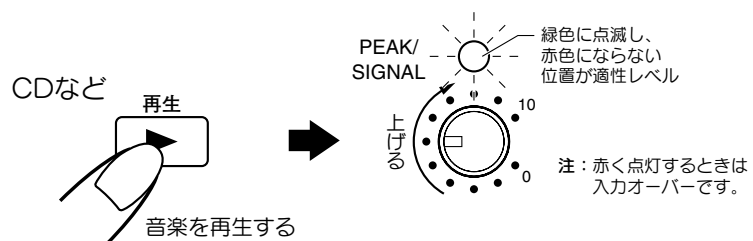


6. ミュージックの入力音量を調節する。

MUSIC1に接続している機器を再生し、MUSIC1の音量つまみをゆっくり回し、SIGNAL/PEAK表示ランプが緑色に点滅し、赤色が点灯しない位置に合わせます。

MUSIC2～5についても同様に合わせます。

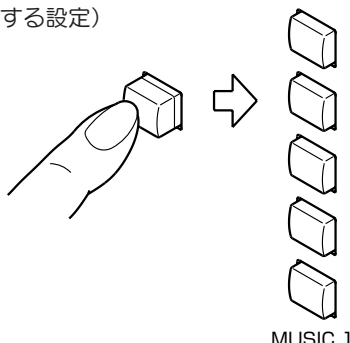
MUSIC6はフロントパネルに音量調節つまみはありません。また、サブ出力系統しか音が出ません。音量調節はMUSIC6に接続されている機器の出力音量つまみで調節してください。



【ステップ 4】 出力音量調節

7. 出力先を選択する。

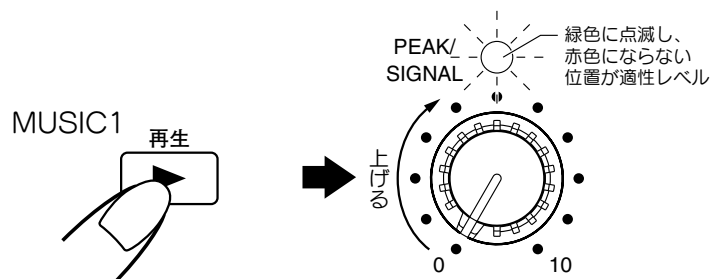
MUSIC1のマトリックスボタンを全て選択状態にします。（MUSIC1の入力音声を全ての出力に出力する設定）



8. 出力音量を調節する。

MUSIC1に接続している機器（CDなど）を再生し、出力1音量つまみをゆっくり右に回して、SIGNAL/PEAK表示ランプが緑色に点滅し、赤色が点灯しない位置に合わせます。

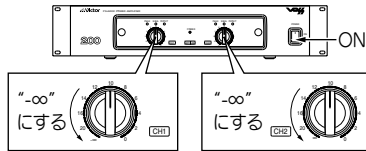
同様に、出力2～4及びサブ出力の出力音量を合わせます。



[ステップ 5] スピーカーの音量調節

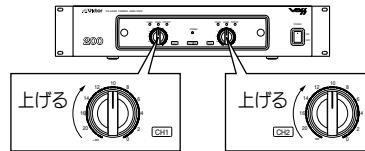
9. パワーアンプの音量調節つまみを最小にして電源を入れる。

全ての出力に接続されているパワーアンプの電源を入れます。



10. パワーアンプの音量を調節する。

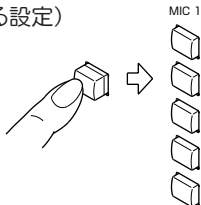
スピーカーから出る音を聞きながら、パワーアンプの音量調節つまみを回して必要な拡声音量になる位置に合わせます。音量が小さい場合や、音が歪むときはパワーアンプの出力が不足しているときです。さらに大出力のパワーアンプを別途ご用意ください。



[ステップ 6] アナウンスなどのマイク系の音量調節

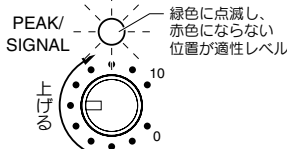
11. マトリックススイッチを選択する。

MIC1 を出力させる系統のマトリックスボタンを全て押して、選択状態にします。(MIC1の入力音声を全ての出力に出力する設定)



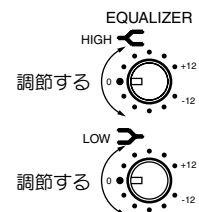
12. マイクの入力音量を調節する。

MIC1 に接続したマイクで普通の大きさの声で話しながら、MIC1 音量調節つまみをゆっくり右に回して必要な拡声音量になる位置に合わせます。SIGNAL/PEAK 表示ランプが緑色に点滅し、赤色が点灯していないければ、BGMなどのミュージックとマイクの音量バランスの適正位置です。同様に、全てのマイクの入力音量を調節します。



13. 音質を調節する。

必要に応じてMIC EQUALIZERつまみを回して、さらに聞き易い音質に合わせます。



ハウリングが発生する場合は、マイクの入力音量を下げ、マイクを口に近づけて話してください。別途ハウリングサプレッサーPS-D320をご使用すると、さらにハウリングが起こらなくなります。

[ステップ 7] ミュージックミュートイングレレベルの設定

14. ミュージック (BGM) を放送する。

MUSIC1 を再生にします。



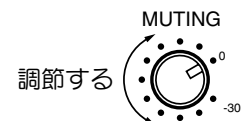
15. 一斉アナウンス放送をする。

MIC10 に接続したマイクで、SIGNAL/PEAK 表示ランプが点灯する音量で一斉アナウンスをします。



16. ミュートイング量を調節する。

アナウンス放送が明瞭に拡声できるように、MUSIC1のミュートイングレレベル調節つまみを左に回しながら、音量の減衰量を調節します。アナウンスを中止すると2～3秒後にMUSIC音量は元に戻ります。同様に、MUSIC2～4のミュートイングレ量を調節します。



[ステップ 8] 各入力出力先の設定 (マトリックスボタンの設定)

17. 入力と出力の組み合わせを決める。

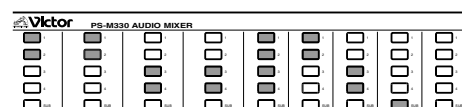
MIC1～9、MUSIC1～4の入力信号をどの出力系統に出すかをシステムにあわせて決めます。

【例】

- ① MIC1～4とMUSIC1を出力1と2に出力する。
- ② MIC5～8とMUSIC2を出力3と4に出力する。
- ③ MIC9(音声合成信号)を出力1～4に出力する。
- ④ MUSIC3をサブ出力に出力する。

18. マトリックスボタンを設定する。

入力と出力の組み合わせに対応したマトリックスボタンを設定する。入力マトリックスボタン列の中から、出力したいボタンを押して選択状態にし、その他のボタンは非選択状態にします。(下図は左の例の場合です。ハッチングされているボタンが選択状態のボタンです。)



以上で設定の終了です。4ページの“プロテクトカバーの取り付けかた”を参照にして、プロテクトカバーを取り付けてください。使用中の不要な操作で設定が変更されることを防止できます。

ご使用中は、必要に応じて出力音量つまみで、希望する音量に調節してください。

VCA INPUT外部音量調節入力端子の説明

外部から出力音量調節を行いたいときは、次の回路を参考にして製作してください。

端子の種類：複式フォノジャック

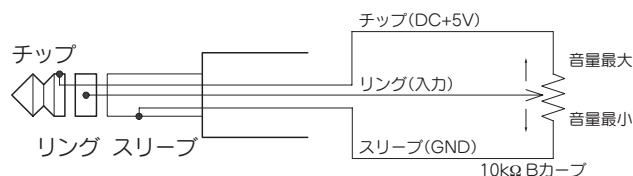
No.	内 容
チップ	バイアス用DC出力
リング	VCAコントロール電圧入力
スリーブ	GND

VCAコントロール電圧入力と音量の関係

DC+5V：最大音量（7ページ18 本体前面の音量つまみで設定した音量）

DC0V：最小音量（無音）

外部音量調節回路の例



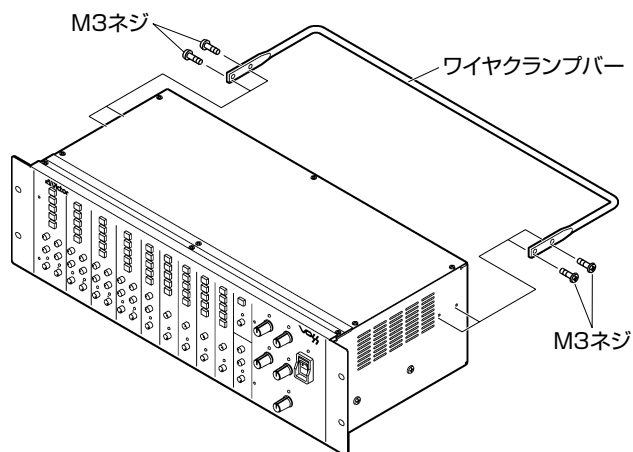
推奨ケーブル：2芯シールド AWG#22以上
最大延長距離：500m（ケーブル抵抗50Ω以下）

ご注意

ノイズを発生する場所や、電力線などからは離して設置してください。

ワイヤクランプバーの取り付けかた

リアパネルに接続した配線が不用意に抜けることを防止するため、下図のように添付のワイヤクランプバーを取り付け、結線したケーブルをこのワイヤクランプバーに固定してください。



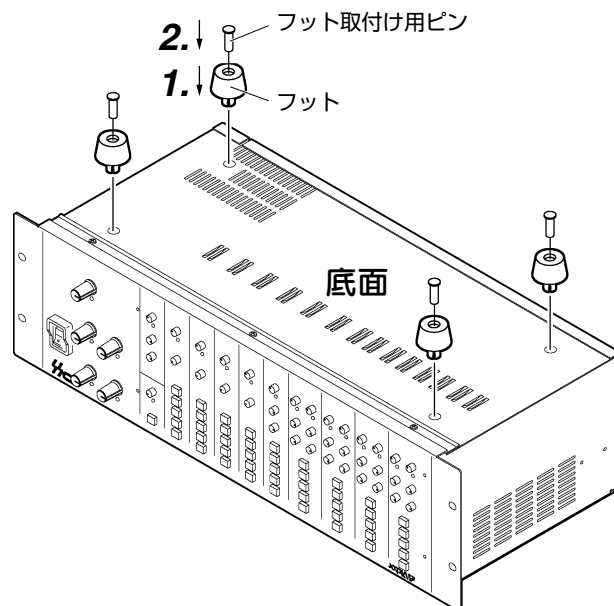
フットの取り付けかた

本機を直接棚に置いて使用するときには、底面に添付のフットを取り付けてください。

1. フットを底面の穴に差し込みます。
2. フット取り付け用ピンを差し込みます。

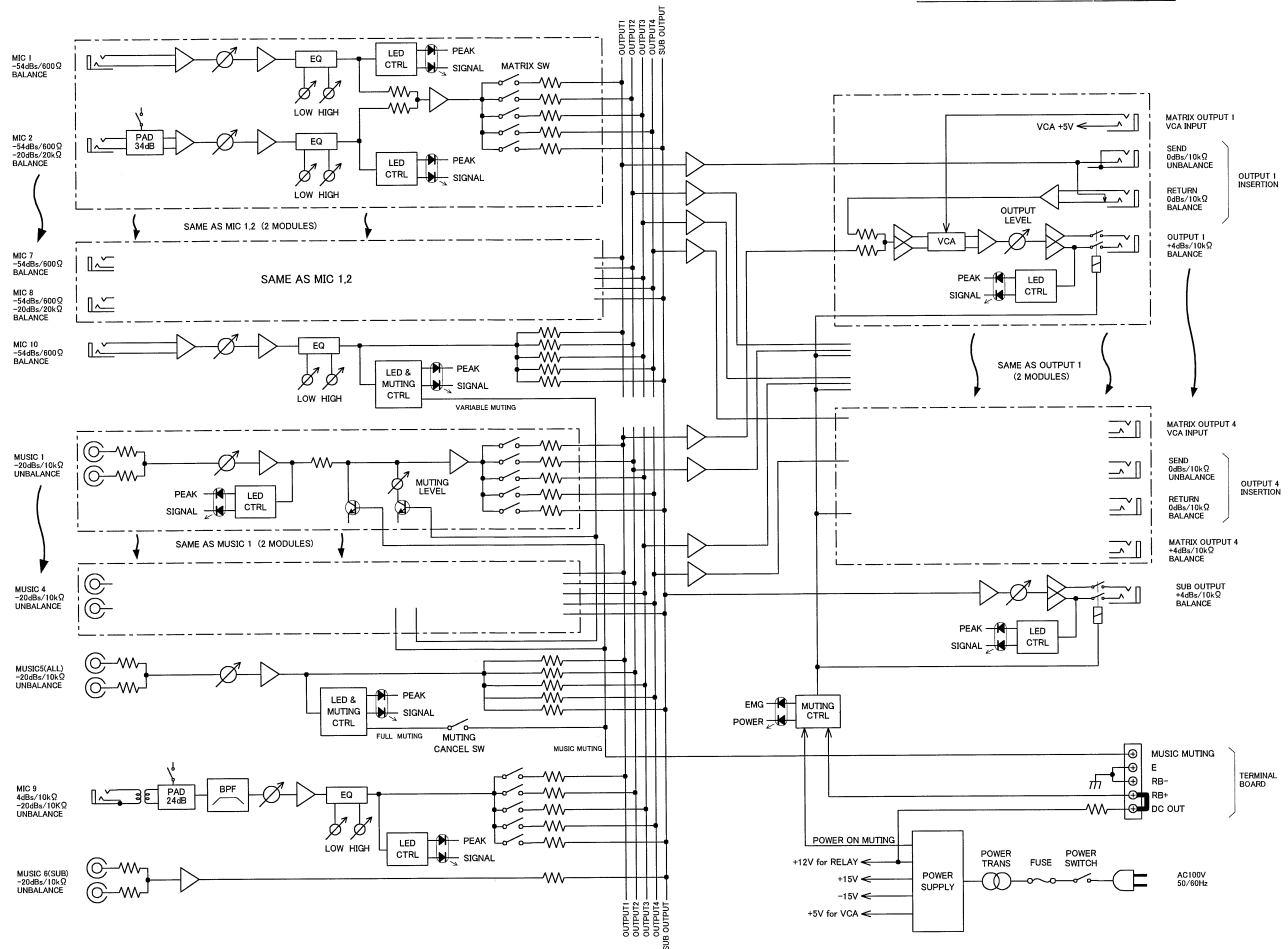
設置するときには側面や底面の通風孔をふさがないようにしてください。

故障の原因となる場合があります。



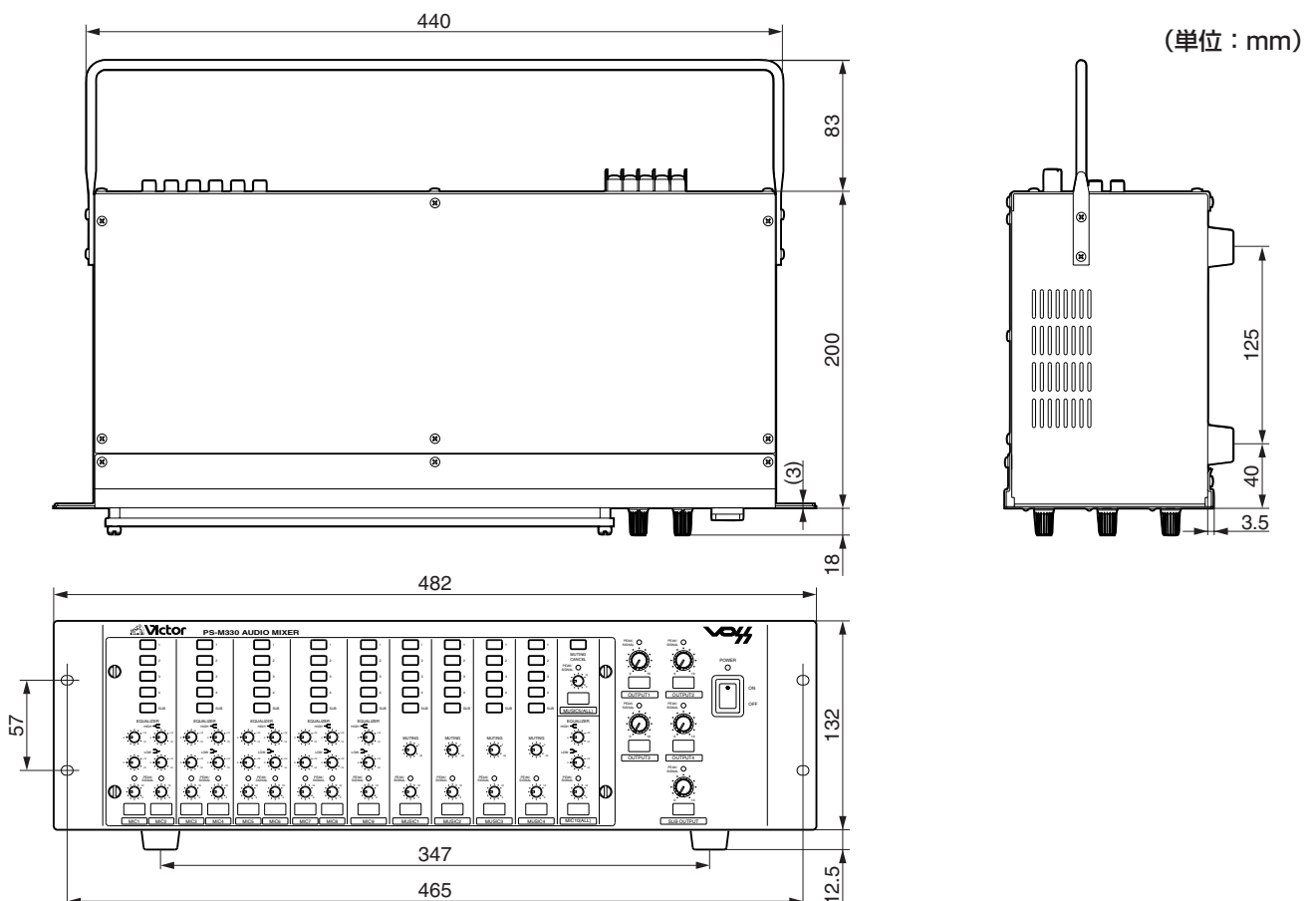
ブロックダイアグラム

PS-M330 BLOCK DIAGRAM



外観寸法図

改善のため予告なく変更する場合があります。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、
記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にて修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	オーディオミキサー
型名	PS-M330
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げ店名	☎ () -
------	---------	---------

この商品を廃棄する場合は、法令や使用する地域の条例に従って適正に処理してください。
長時間ご使用にならない場合は、省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。

主な仕様

※本機の仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

0dBs=0.775V

■入力回路

マイク入力	: モノラル10系統
入力1,3,5,7	: -54dBs600Ω電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)
入力2,4,6,8	: -54dBs600Ω/-20dBs20kΩ切換 電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)
入力9	: -20dBs10kΩ/+4dBs10kΩ切換 トランス絶縁不平衡(φ6.3複式フォノジャック)
入力10(一斉)	: -54dBs600Ω電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)
ミュージック入力	: モノラル6系統(内部でL,Rミックス)
入力1~4	: -20dBs10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
入力5(一斉)	: -20dBs10kΩ 不平衡(一斉用, ピンジャック×2)
入力6(サブ)	: -20dBs10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)

■出力回路

メイン出力	: モノラル4系統
出力1~4	: +4dBs10kΩ電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)
サブ出力	: モノラル1系統
	: +4dBs10kΩ電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)

■インサージョン

マイク系統	: モノラル4系統
センド出力1~4	: 0dBs10kΩ不平衡(φ6.3複式フォノジャック)
リターン入力1~4	: 0dBs10kΩ電子平衡(φ6.3複式フォノジャック)

■総合仕様

周波数特性	: ミュージック入力 20Hz~20kHz(+0.5dB-1dB, 1kHz基準) マイク入力 100Hz~10kHz(+0.5dB-3dB, 1kHz基準)
全高調波歪率	: 0.1%以下(20Hz~20kHz, ミュージック入力, +18dBs出力時)
マイク入力換算雑音	: -120dB以下(IHF-A, マイク入力150Ω短絡)
残留雑音	: -90dBs以下(IHF-A)
系統間クロストーク	: -60dB以下(7kHz)
音質調節	: 10系統(マイク) HIGH(10kHz) 可変範囲±12dB シェルビング LOW(100Hz) 可変範囲±12dB シェルビング
インジケーター	: シグナル/ピークLED(ミュージック入力6(SUB)を除く全入出力チャンネル)
マトリックス	: 入力9系統(マイク×5, ミュージック×4)×出力5系統
付属機能	: ミュージックミュートイング, ミュージックミュートイングレベル調節, ミュージックミュートイングキャンセルスイッチ, VCAコントロール入力 ミュージックミュートイング入力, マイク一斉機能, 非常時遮断入力(RB+/RB-)
電源消費電力	: AC100 V 50 Hz / 60 Hz 34 W(電気用品取締法)
許容温度	: 動作0℃~+40℃ 保存-20℃~+50℃
外形寸法	: 482 mm(幅)×132 mm(高さ)×233 mm(奥行き) EIA 3H (フット, 突起物含まず)
質量	: 6.3kg
仕上げ	: 鋼板黒色焼き付け塗装 マンセルN1近似
付属品	: ラックマウント用ネジ(M5)×4 プロテクトカバー×1 ワイヤクランプバー×1 ワイヤクランプバー取付用ねじ(M3)×4 フット×4 フット取付用ピン×4
添付物	: 取扱説明書(本書)×1, 保証書×1, ピクチャーサービス窓口案内×1 安全上のご注意×1

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203